

畜産農家の負担軽減による肉用牛繁殖基盤強化 ～定休型肉用牛ヘルパー活用～

(長崎県：五島地域定休型肉用牛ヘルパー組合)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
○					労働環境の改善

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：長崎県五島市
- ・代表者：ヘルパー組合長 中村 酉幸
- ・ヘルパー数：2名 (R4.2時点)
- ・HP等：<http://www.ja-goto.or.jp/>



肉用牛ヘルパー活用の様子

<取組について>

- 経緯
 - ・離島である五島地域は、県内でも主要な肉用子牛の生産地帯。農家の高齢化や後継者不足により、飼養戸数の減少が続き、地域の基幹産業である肉用牛生産の基盤強化が課題。
 - ・管内の繁殖雌牛飼養頭数を増頭・維持するため、農家の負担軽減や後継者へ向けた魅力発信を目的として、平成26年に県内初となる定休型肉用牛ヘルパー組合を設立。
- 概要
 - ・ヘルパー2名によりシフトを組み、五島市内のヘルパー組合員の畜産農家(29戸)の飼養管理作業(朝夕の給餌、舎内清掃管理など)を一日代行。
- 成果
 - ・畜産クラスター事業の活用により地域内の飼養頭数が着実に増頭する中、労力補完となるヘルパーの活用により、畜産経営者やその家族が、日頃できなかった用事やその他の作業を行うことができるため好評で、利用者は年々増加(設立当初12戸→現在29戸)。

<五島地域の肉用牛繁殖飼養戸数・頭数の推移>

(単位：戸、頭)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
戸数	287	288	281	283	283	280
飼養頭数	4,083	4,150	4,322	4,643	4,793	4,937

※各年4月1日時点